

当院の美容皮膚科治療

和田 哲行¹ 林 英明¹

Tetsuyuki Wada¹ Hideaki Hayashi¹

医療法人社団翔友会 品川美容外科 渋谷院¹

「しみ・しわ・たるみ」の改善が、美容皮膚科を受診する方の中で最も多い。また、これらアンチエイジングの重要性は今後ますます増加すると考えられる。

メラニン色素の沈着である「しみ」、表皮や真皮の機能低下による「しわ」、真皮・皮下脂肪・筋肉の機能低下による「たるみ」の改善には、それぞれ異なるアプローチが必要である。当院ではこれらの治療において、スキンケアを推奨するとともに、UPL(U-Shape Pulse Light)、QスイッチNd:YAGレーザー、モノポーラ式・バイポーラ式ラジオ波、高密度焦点式超音波(HIFU)を主に使用している。また、定期的にVISIAを使用し画像評価を行うことにより、治療効果を確認して治療方針を立てている。今回、品川美容外科として30周年、品川スキンクリニックとして14周年を迎えた当院における一般的な治療法、工夫点、注意点、症例写真などを合わせて紹介する。